

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信

2016.4

Vol. 42

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信 Vol.42

●平成28年4月発行

●編集・発行／総合東京病院

〒165-0022 東京都中野区江古田3-15-2

TEL. 03-3387-5421(代)

特集

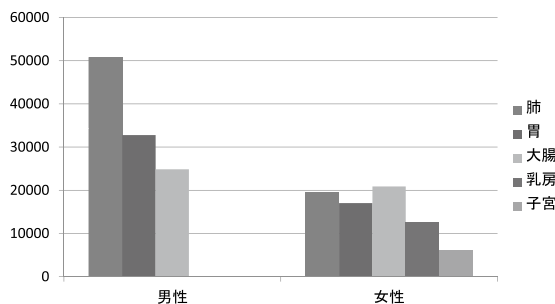
増え続ける大腸がん



消化器内科 医長
尾関 伸司

2015年10月に名古屋から東京病院に赴任しました。今回はがんの中でも特に増加傾向にある大腸がんについてお話しします。

1. 大腸癌による死亡数 (図1)



出典：厚生労働省 人口動態統計 H23年

図1. 性別、部位別がん死亡率

厚生労働省の人口動態統計による性別、部位別死亡率によると、以前日本人に多かった、胃癌は減少して横ばいに対して、大腸癌は男女ともに増加しており、男性では肺癌、胃癌に次いで3番目、女性では最も死亡率の高い癌となっています。2013年の大腸がんによる死亡者は47,654人に上っています。

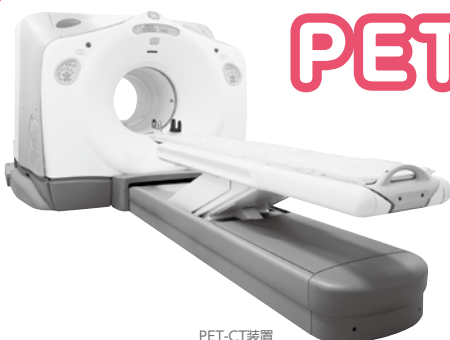
2. 大腸がんリスクのチェック (図2、図3)

大腸がんの発生には遺伝的要因に加え、環境因子や生活習慣による遺伝子

| | 抑制因子 | 促進因子 |
|------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 確実 | 身体活動 | 赤身肉 加工肉 飲酒(男性) 肥満 内臓脂肪型肥満 |
| ほぼ確実 | 食物繊維 ニンニク 牛乳 カルシウム | 飲酒(女性) |

出典：分子消化器病 vol12 no2 2015

図2. 食事、栄養、運動と大腸がん



PET-CT装置

PET-CTがんドック予約受付中

「PET-CTがんドック」 ※総合東京病院の来院申込者

通常料金 108,000円 ➡ 優待料金 **86,400円(税込)**

※「脳検査」を追加の場合は、108,000円(税込)になります。

詳しくは、予防医学課へ

☎03-3387-5462

受付時間/月～土(日・祝除く)
AM 9:00 ~ PM 5:00

特集 増え続ける大腸がん

の突然変異、潰瘍性大腸炎からの発がんなどが考えられています。癌と生活習慣、食生活についての多数の研究をまとめた報告もあり、それによれば、大腸癌の危険因子として、赤身や加工肉、脂肪、肥満、予防因子として、食物繊維やカルシウム、魚、身体活動などがあげられています。また、大腸癌の発生と深く関わっている因子を割り出すと、日本人男性の場合、年齢、肥満度、身体活動、飲酒、喫煙の5つの因子が重要であることが分かりました。

3. こんな人は要注意 (図3)

大腸に腫瘍ができると、血便が出てきたり、大きくなって、腸の内腔がせまくなり、急に便秘になったり、下痢と便秘をくりかえすようになってきます。そのような症状の出た方はなるべく早く病院を受診した方がいいでしょう。

| 危険因子 | 相対危険度 |
|-----------------------------|-------|
| 年齢(1才あたり) | 1.08 |
| 肥満度(1kg/m ² あたり) | 1.05 |
| 身体活動 | 0.98 |
| 飲酒 | |
| カテゴリ1: 飲まない | 0.85 |
| カテゴリ4: 飲む(週300g以上) | 1.93 |
| 喫煙 | |
| カテゴリ1: 吸わない | 1 |
| カテゴリ4: 現在喫煙 | 1.27 |

出典：Cancer Epidemiology 2010年34巻：534-41

図3. 5つの危険因子と大腸がん

4. 大腸がんの検査、治療

大腸がんは早期に発見、治療をすると完治する可能性が高くなります。また早期発見のスクリーニングとして便潜血検査はなる

べく受けるようにしましょう。検査が陽性になった場合は、大腸内視鏡検査(図4)を主に行って、大腸の中にがんやポリープがないか確認を行います。病気があれば、内視鏡治療(図5)、手術での切除を行います。症状があつたり、便潜血が陽性であつたら、なるべく早めに病院を受診し、主治医の医師と話しあつて、検査、治療法を受けることをおすすめします。

- 血便がある
- 急に便秘になった。便が細くなった
- 下痢と便秘を繰り返すようになった
- 時々お腹が痛くなる



図4. こんな人は要注意

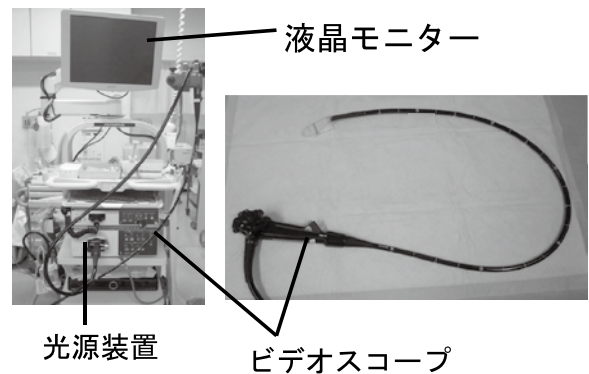
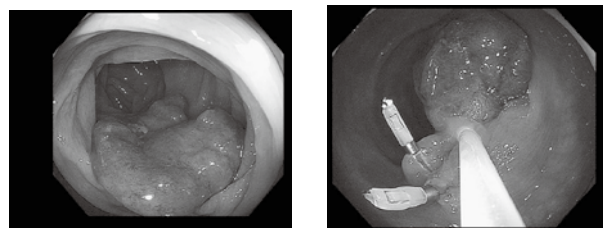


図5. 内視鏡検査



(A)

(B)

(A) S状結腸の2.5cm大の早期癌
(B) 内視鏡を使って腫瘍を切除している様子

図6. 内視鏡治療